登録商標

田中家通信

発行
田中家石材
彦根市高宮町108-1
Tel. 0749-24-2789
VOL. 4

ご先祖さま、おかえりなさい！

お盆ひとくちメモ

なぜ「お盆」というのでしょうか？

「お盆」は「**盂蘭盆(うらぼん)**」という言葉が略されてできた言葉です。その語源は、インドの古い言葉、サンスクリット語のullambana(ウランバナ)で、このウランバナが盂蘭盆と音写され、「お盆」になりました。

＊お盆は、ご先祖さまの魂(たましい)をご供養、おまつりするところから、「**み魂(たま)まつり**」ともいいます。お盆を英語で何といい表すのかといいますと、the 'Bon Festival'(ザ・ボン・フェスティバル)と表し、ちなみにお盆の行事によく行われる「盆踊り」は、the 'Bon Festival' dance(ザ・ボン・フェスティバル・ダンス)といいます。

＊お仏壇はきれいにお掃除をしておきましょう。仏具類はていねいにみがき、お花、お水、ご供膳をお供えします。ロウソクは新しいものに取りかえ、線香立ての中の古いお線香を取りのぞいて、お線香がたむけやすい、やわらかな灰にしておきましょう。

＊お盆を機会に、お仏壇やお位牌、またご本尊を新しくしたときは、菩提寺のご住職に「み魂(たま)入れ・開眼(かいがん)」のご法事をしていただきましょう。

＊亡くなった方の、初めて迎えるお盆のことを「**新盆(にいぼん)**」、あるいは「**初盆(はつぼん)**」といって、とくに心をこめてご供養を営むのがしきたりとなっています。

＊お墓まいりは、家族全員でおまいりしたいものです。お子さまにとっても、ご先祖さまへの理解を深めるよい宗教教育の機会になることでしょう。

©ぱんたか　ぶっきょうスクール第58号より

「僕」と松陰

「**僕**」という一人称を日本で最初に使ったのは、**吉田松陰**である。「僕」という自称が初めて表されたのは『漢書』であり、当時よく『漢書』に目を通していた松陰が「僕」という単語を見つけて、自称の言葉として用いるようになったという。

もっとも、親しい友人に宛てた手紙には「僕」を書いていたが、公用の文書などには「私」を使っている。

この「**僕**」**には平らかな人間という意味**が込められてあり、松陰のもっている平等観にもマッチする。幕末の初めに「僕」と自称したのは、松陰とその影響を受けた弟子たちに限られていたらしい。やがて明治維新後、松下村塾出身の者たちが政府を支えるようになってから「僕」は全国的に使われるようになったという。

©「日本人の神髄」　小田　全宏　著より

六・七・八十の手習い
〝人生に定年はない！〟

老化とは加齢に伴い、心身の機能が低下することであり、この機能の低下は、体内の種々の器官が萎縮することによるものであると云われている。萎縮の原因の中でも、老人にとって無視できないのが、廃用性萎縮と呼ばれるものである。しばらく寝込んだ後は、すぐには立ったり、歩いたりできないのは、足を使わなかったため、足の筋肉が萎縮したためであろう。

手足に限らず、脳にも廃用性萎縮が起こるのは、明らかである。脳の萎縮は、手足の萎縮よりも、もっと厄介であると専門家は教えている。

手足の萎縮はリハビリによって元に回復する度合いも高いが、脳は元に戻ることができないことも多い。従って定年後、家で**ぼぉっ**として、頭を使わず、運動もしないでいると、**ぼけ**が始まり、果ては寝たきりにもなりかねない。即ち自立するためだけにでも、健康な心とからだづくりに気を付けながら、人生八十年時代を老いて、ますます元気で明るく、楽しく、ハリのある生活が送れるようにしたい。実のある第二の人生の創造は、欠くことの出来ないものであろう。

最近、『ぶっきょうスクール』お盆特集版(**教えておくこと、学ぶこと**)のひとコマで、**"今"を充実することが人生の基本です！**ということを学びました。

前述のことなど、また**老化を老華**にするための手だてを、みんなが考えなければならないと、田中家通信編集部は思っています。

マメ知識

「足を洗う」

悪事ときっぱり縁をきること。

釈迦の時代、僧侶たちは裸足で生活をしていた。托鉢や説教にでかける時も、裸足のまま外を歩き、寺院に帰ると汚れた足をきれいに洗い清め、寺の中に入ったという。

この習慣を、世間で言われる、**汚れた世界から心身ともにきれいになること**に例えて使うようになった。

水鉢と呼ばれる墓石の花立の間にある楕円形のくぼみも、ご先祖さまに飲み水を差し上げる他に、お盆からお墓へ帰るご先祖さまが「足を洗う」ために水を入れるという説もあるようである。

季の詩

＊人間

良いとこばかり
話したら
良い人ができあがる
悪いとこばかり
話したら
悪い人ができあがる
人の話は
そんなもの

良いとこばかりの
人もいないはず
悪いとこばかりの
人もいないはず

良いところがあって
悪いところがあって
それが人間
それこそ人間

産経新聞より

創業明治四十一年　**株式会社 田中家石材**

(お墓)(墓地)等、石に関するご相談は
0120-68-1082

全優石
全国優良石材店

■会社概要
●許可登録／滋賀県知事許可　第〇五一二七四号
●営業品目／寺院関連製品(各宗派吉相墓・記念碑等)
社寺関連製品(鳥居・記念碑・狛犬・灯籠・玉垣等)
環境石材製品・モニュメント・公園石施設・美術工芸品等
化石・鉱物・宝石・岩石・珍石等
●技術資格／厚生労働大臣認定　石積一級技能士
厚生労働大臣認定　石貼一級技能士
厚生労働大臣認定　石材加工一級技能士
◆松下電工労働組合加盟店　◆ブリヂストン生協加盟店
◆財務省印刷局彦根朝陽会加盟店

田中家石材

高級墓石、常時百基を大切に「屋内展示」致しております。